

報恩講法要

平成 26 年 12 月 7 日(日)

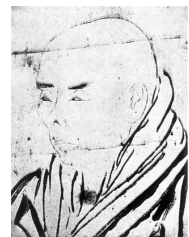
朝 10 時～12 時	お齊	昼 1 時～3 時
正信偈 (行譜) 仏教讃歌「旅ゆくしんらん」		正信偈 (草譜) 仏教讃歌「しんらんさま」

冠省 日頃より格別のご厚誼を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、来る 12 月 7 日(日)、
明覚寺本堂にて報恩講法要を修行いたします。

ご法友お誘いあわせご参拝くださいますようご案内申し上げます。 合掌

浄土真宗を病院にたとえてみましょう。



親鸞聖人が建立された浄土真宗という病院がありました。

そこにある患者さんが来院しました。

「先生、私別にどこも悪くないと思っております。」

そんな事を患者が言う前から、

ドクターお釈迦様はにっこり笑って、

カルテにさらさらっと

「煩惱具足の凡夫」と書きました。

そして処方箋を。

そこには「大無量寿経」とあります。

それをもって薬局へ。

諸仏というやさしい顔の薬剤師さんが、

「これは念仏です。」

別に特段、生活に気をつけることはありません。

普段通りの生活をしてください結構です。

いつでも思い出した時、南無阿弥陀仏と

称えてください。

そう言われたので、

先生・薬剤師さんに言われるまま、

「南無阿弥陀仏」。

難しくも何ともありません。

阿弥陀様との共同生活が始まりました。

「使用済み古切手」を集めています

収益金を「ユニセフ・国連児童基金」に寄付しますので、ご協力お願いします。他に「ベルマーク」も集めています。

- ★切手の周り5ミリ位を残して切って下さい。
- ★台紙から剥がさないように。
- ★切手の周りのギザギザがないと無効です。



※お経の本、念珠などの仏具は大切なものですから 直接、畳、床、座布団のような足の踏み場に置かないようにしましょう。

また、トイレには持ち込まないように ご注意ください。

お経の本を開く前、閉じた後は必ず両手で戴く習慣を身につけましょう。

式章をお持ちの方は忘れず仏前で着用いたしましょう。